

トライ!

日和田小学校 第5学年
学年だより 第19号
令和4年6月20日発行

ぐるぐる交換自学、スタート

先日、トライ第17号で予告いたしました自主学習を充実させるための取り組みについてお知らせいたします。

子どもの頃、「交換日記」をやったことはないでしょうか？そこから発想を得て、考えた取り組みです。1冊のノートを順番に回して、自主学習を取り組んでいくというものです。

＜取り組み方＞

1. これまでの友だちの自学を見る。
(よいと思ったところをマネする。)
2. 「自分の名前」と「めあて」を書く。
(苦手なことを意識すると、よいですね。)
3. 自主学習に取り組む。
(自分の力を試す取り組みをしたいですね。)
4. 「まとめ」や「感想」を書く。
(学習をして気づいたことは、何かな?)
5. 家の人に見せる。
(できれば、お家の人にサインをもらう。)

＜この取り組みのねらい＞

子どもからすると・・・

- 友だちの取り組みを堂々とマネをすることができる。
- 「友だちやお家の人に見られる」という緊張感をもつことで、取り組みが充実する。

お家の人からすると・・・

- 子どもの自主学習の実態が分かる。
- 自分の子ども以外の取り組みを見ることができる。
- 「この子みたいにやってみたら」とアドバイスをしやすい。

実際には、学級で4冊のノートを準備して回していくようになりますので、7日間に1回程度このぐるぐる交換自学のノートがお子さんに回ってきます。

お忙しいとは思いますが、そのぐるぐる交換自学が回ってきた際には、ぜひ目を通していただき、子どもたちの自主学習が充実したものになるように、ご協力よろしくお願いします。

「みんな、こんなにていねいにやっているでしょ!! あなたもがんばりなさい!!」ではなく、もちろんほめる・認める材料として活用していただけたら幸いです。

